

## オニヤンマ

古い写真を整理していましたが、ピントが甘々ですがオニヤンマがありました。記録は2004年7月30日13時07分でした。場所は有明森林の当会担当区域外の作業道脇。小枝で休息しているのに出会いまして、接写した場面と記憶しております。捕獲したのではなく、自然態のオニヤンマでした。



オニヤンマは日本最大のトンボです。昆虫少年時代の標本箱の中心に置いていました。これを含めて過去に2度しか捕獲していません。その2度目は札幌の西岡公園の池で二人の男の孫(当時小学低学年と幼稚園児)をつれて虫採り網でゲットし、自宅に持ち帰り、部屋の中に放ちまして、孫たちにじっくり観察させたことでした。このでっかい存在感に満ち満ちたトンボは、なまら魅力的なのであります。体長77(♂)~87(♀)mm、分布はほぼ日本全土。鹿児島以南の島々では分布しない島もあるようですが、南下するにつれて密度が薄くなるとのこと。



ヤンマトンボたちは、ほぼ同じ航路を周回しながら、飛んでくる他の昆虫たちを空中捕捉しますので、周回航路で待ち伏せして、捕虫網を的確に振りますと、捕獲はそれほど難しくありません。捕獲に失敗しますと逃げられて2度目のチャンスは訪れませんので、あきらめましょう。近くをかすめて飛ばれると羽音が聞こえます。捕らえるよりもその飛ぶ姿を見ている方がよほど楽しいのです。澄川基地でも見かけたことがありました。

ネットでまるで筆者の当時の孫を彷彿とさせる画像に出会いましたので、掲載させていただきます。懐かしくて心が和むのであります。2017年時点で、孫たちは二人とも社会人になりました。西岡公園は澄川森林に近いので、何時でも行ける場所ですが、斜面から池を見下ろしたことはありませんが、孫との訪問以来池のほとりには行っていません。トンボの種類はおそらく澄川よりも多いと思うのでトンボおたくの方にお勧めいたします。

